



2020年10月20日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

全自動PCR検査装置を対象としたファイナンスパートナーシップに関する 基本合意書の締結について

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（本社：千葉県松戸市、以下「PSS」といいます。）とみずほリース株式会社（本社：東京都港区、以下「みずほリース」といいます。）は、PSSが製造・販売する全自動PCR検査装置「エリート インジニアス」及び「ジーンリード エイト」などの販売に係るファイナンスパートナーシップに関する基本合意書を締結しましたので、お知らせいたします。

PSSはバイオ関連業界において、DNA自動抽出装置等の各種装置や試薬等の開発・製造販売を営んでおります。同社が製造する全自動PCR検査装置は、核酸抽出からリアルタイムPCRまでの遺伝子検査フローを完全自動化したシステムとして、ヨーロッパを中心にPCR検査を実施する世界の医療現場で導入されており、日本国内においても、新型コロナウイルス「COVID-19」の感染症検査で利用されています。

みずほリースは、「モノ」に関する広範な知見と商流に対する深い理解及び高度な金融ノウハウを用いて、お客様の事業推進に資する幅広い金融・事業サービスを提供する総合リース会社です。現在推進中の第6次中期経営計画では、医療・ヘルスケア分野を注力分野の一つとして位置付けるとともに、お客様と共同でのサービスビジネスの拡大を推進しています。

PSS及びみずほリースは、互いの強みを生かし、全自動PCR検査装置の国内医療施設等への導入を拡大していくため、メンテナンスリース等の共同提供に向けた基本合意書を締結いたしました。メンテナンスリースの提供により、装置導入の際の初期費用を抑えることができ、装置の使用・所有に係わる費用（メンテナンス料金、固定資産税、保険費用等）を月々のリース料に含めることでキャッシュ・フローの安定化を図るとともに、事務負担を軽減する等、医療施設等による全自動PCR検査装置の導入支援の一助となるものと考えております。

新型コロナウイルスの感染拡大が社会に大きな影響を与えているなか、PSS及びみずほリースは、同検査装置の普及を通じて新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努めることで、社会的課題の解決に貢献してまいります。

なお、本発表に伴う今期の事業の見通しに及ぼす影響はありません。

記

【製品の概要】

「エリート インジニアス」:

製造販売届出番号：12B3X00033000003

PSS が製造し、OEM 製品としてエリテック社に供給する全自動 PCR 検査装置。



- 中～大規模病院向け
- 同時処理数 / 1～12 検体バッチ処理
- 装置サイズ / 約 W1000×D750×H860mm、約 190kg
- 参考価格 1,250 万円
- Primary tube (採血管等) からのサンプル分注、PCR 試薬分注機能搭載
- フランス、イタリア等欧州を中心に海外での COVID-19 検査実績あり
- エリテック社より 2015 年販売開始時から数百台の販売実績あり

「エリート MGB SARS-CoV-2 キット」

エリテック社が製造し、PSS が日本において販売を行うエリテック社の「COVID-19」検査用 PCR 試薬。
(液状試薬)

「エリート インジニアス」において使用する。

「ジーンリード エイト」

製造販売届出番号：12B3X00033000006

PSS が製造し、PSS ブランドで販売する全自動 PCR 検査装置。



- 中小規模病院向け
- 同時処理数 / 1～8 検体バッチ処理
- 装置サイズ / 約 W350×D700×H770mm、約 80kg
- 参考価格 850 万円
- PSS ブランドより 2018 年販売開始時から数十台の販売実績あり

「VIASURE SARS-CoV-2 PCR (ORF1ab gene, N gene)」

セルテスト社が製造し、PSS が日本において販売を行うセルテスト社の「COVID-19」検査用 PCR 試薬。
(凍結乾燥試薬)

「ジーンリード エイト」において使用する

以上